

■欧州：2008年のCO2排出施設リスト上位にドイツ、ポーランドの発電所

EUは2009年4月初旬、EU排出量取引制度（EU-ETS）の対象施設による2008年の排出実績データ（暫定）を明らかにした。それによると、2008年において、EUで最もCO2排出量が多かった上位10施設は、いずれも発電部門によって占められるという結果になった。また、このうち6施設がドイツ（うち4施設がRWE社所有）、2施設がポーランドの発電所で、英国、イタリアの発電所が1カ所ずつとなっている。なお、最も排出量が多かった施設は、ポーランドのベルハトフ石炭火力発電所（約309万t-CO₂）であった。EUによる最終データの発表は、2009年5月半ばに予定されている。